

5人のイチな王子さま



いつものように
電車にのりこんだ

今日は
混んでいた

私は中学に
通うために
電車にのらなければ
いけなかった



両親は心配していた



真美ちゃんはおとなしいから
心配よ



男に襲われたり
とか ちゃんと
朝ごはん 食べ
ないと 元気がない
とか

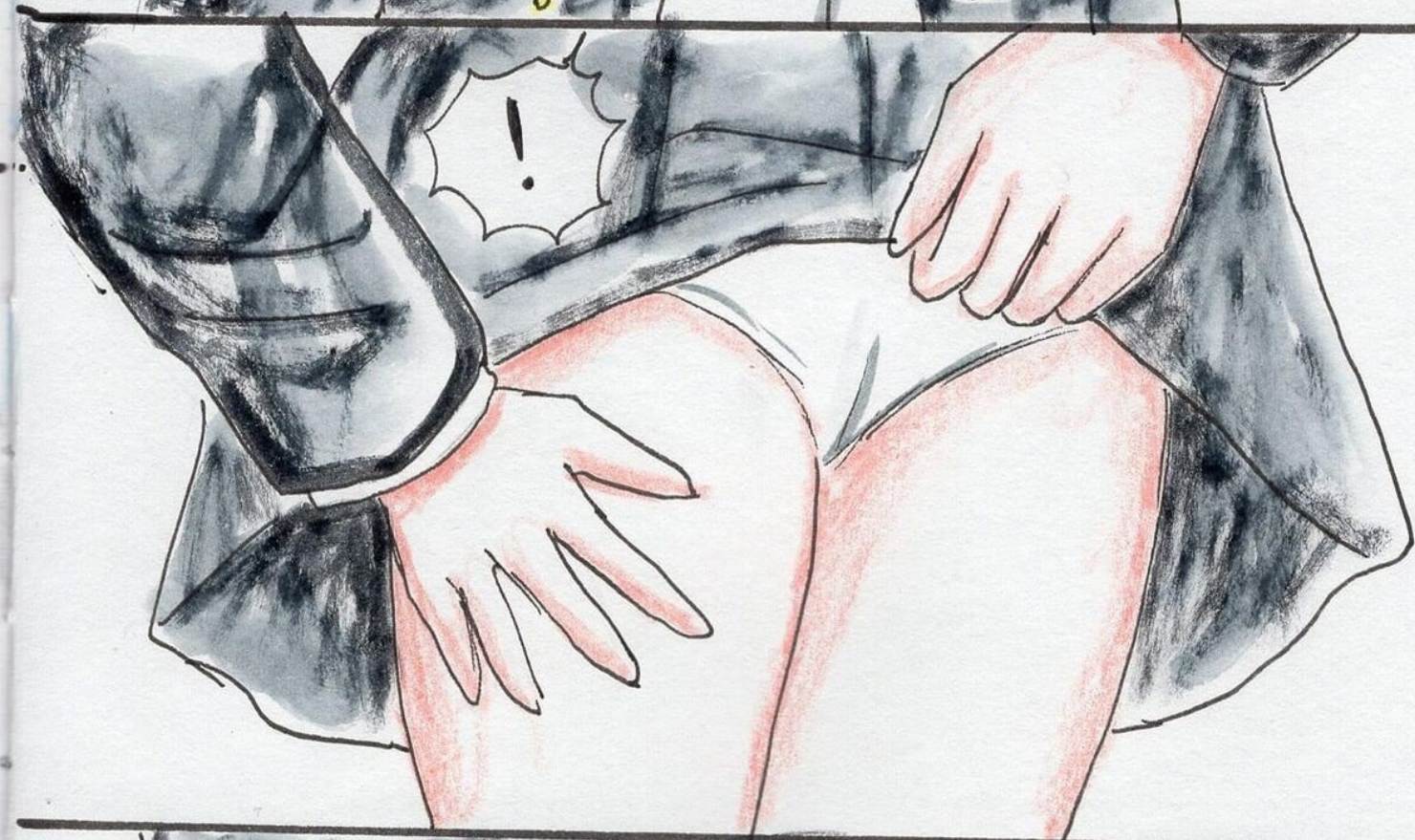


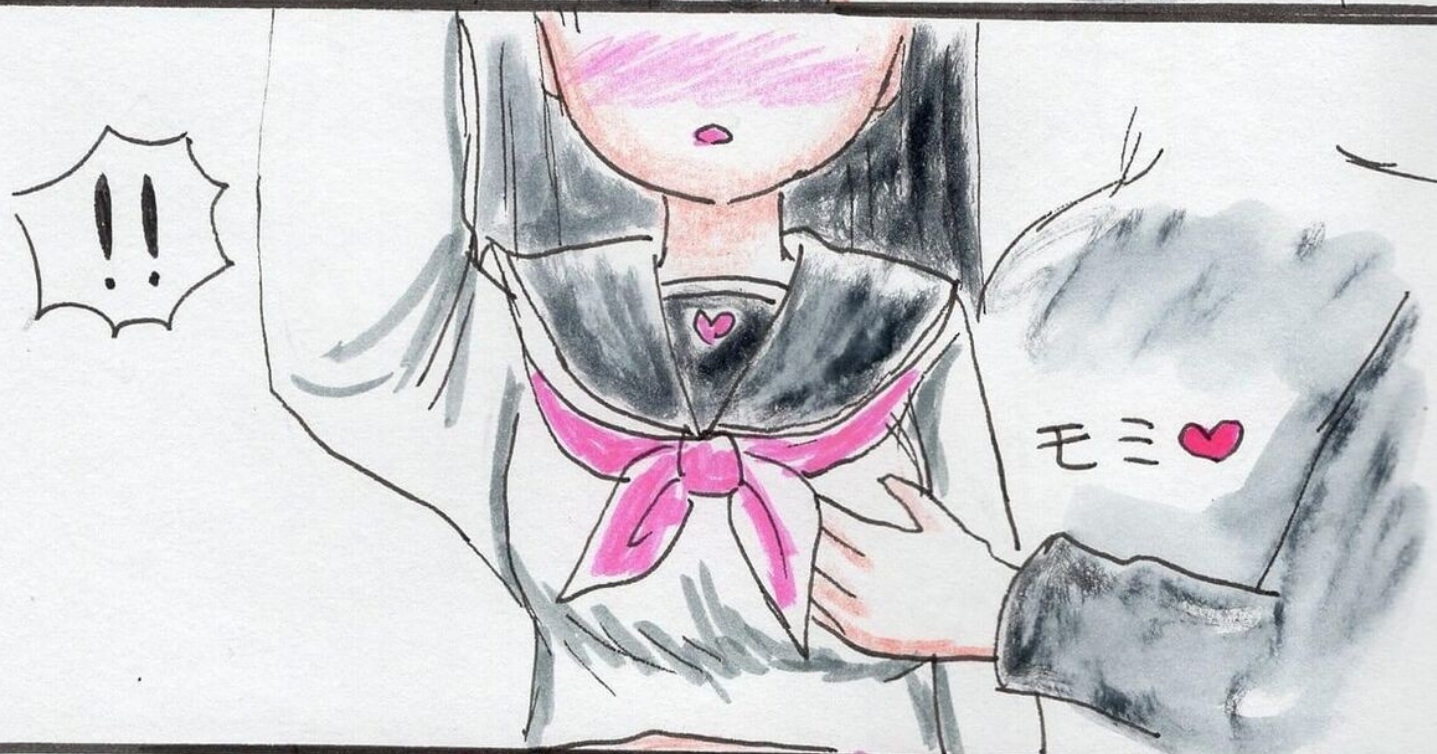
大丈夫よ

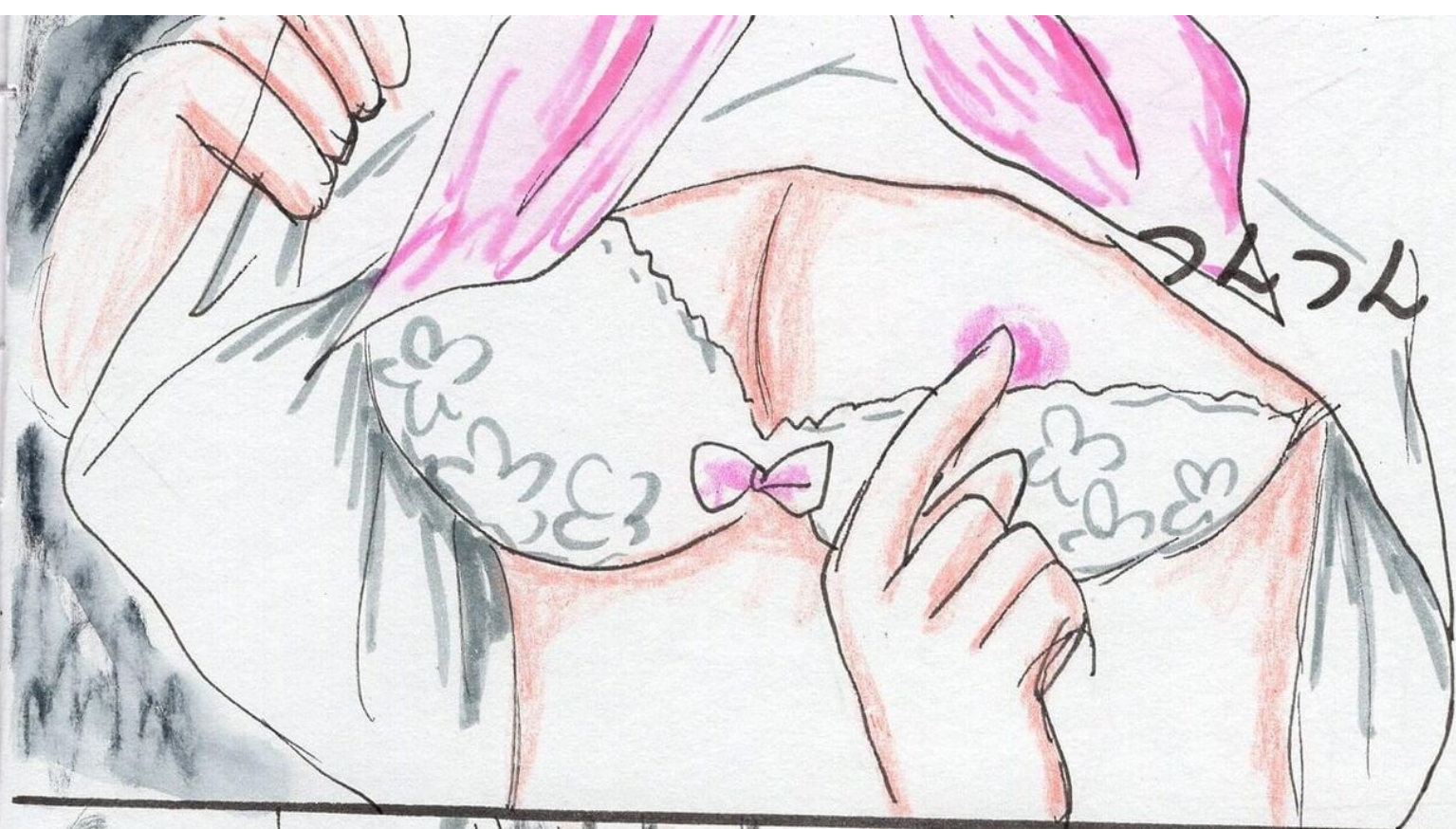
私は
少し強がっていた





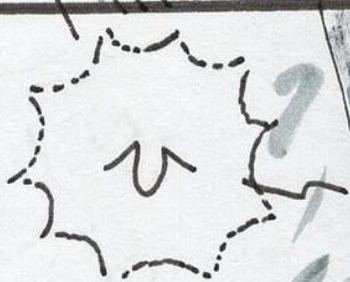






うねうね

さわさわ



くちゅくちゅ

↑↑...○○○







私は男の子
たちが小布くて
抵抗できず
つれていかれて
しまった



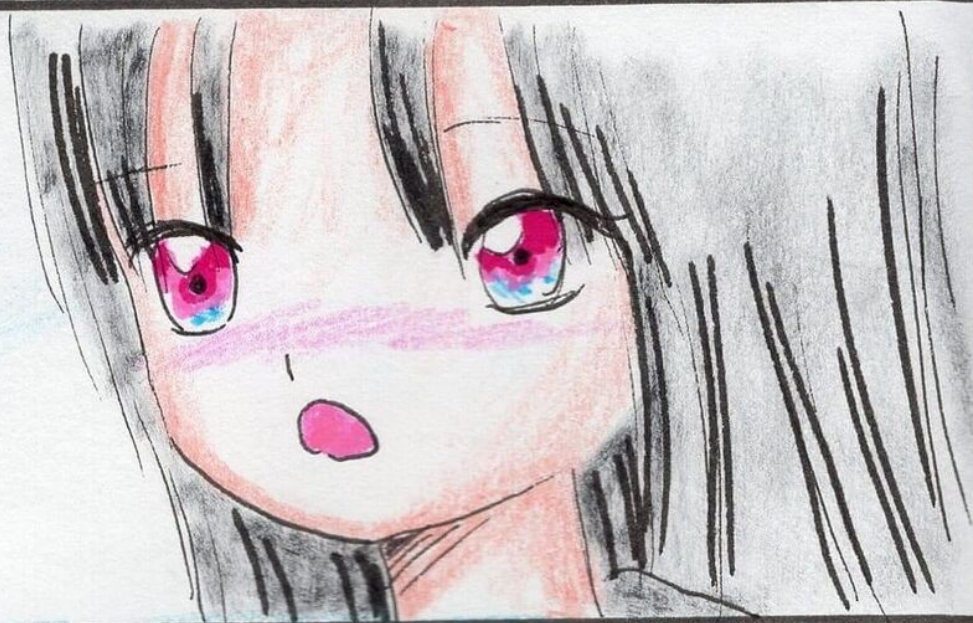
私は公園に
つれていかれた



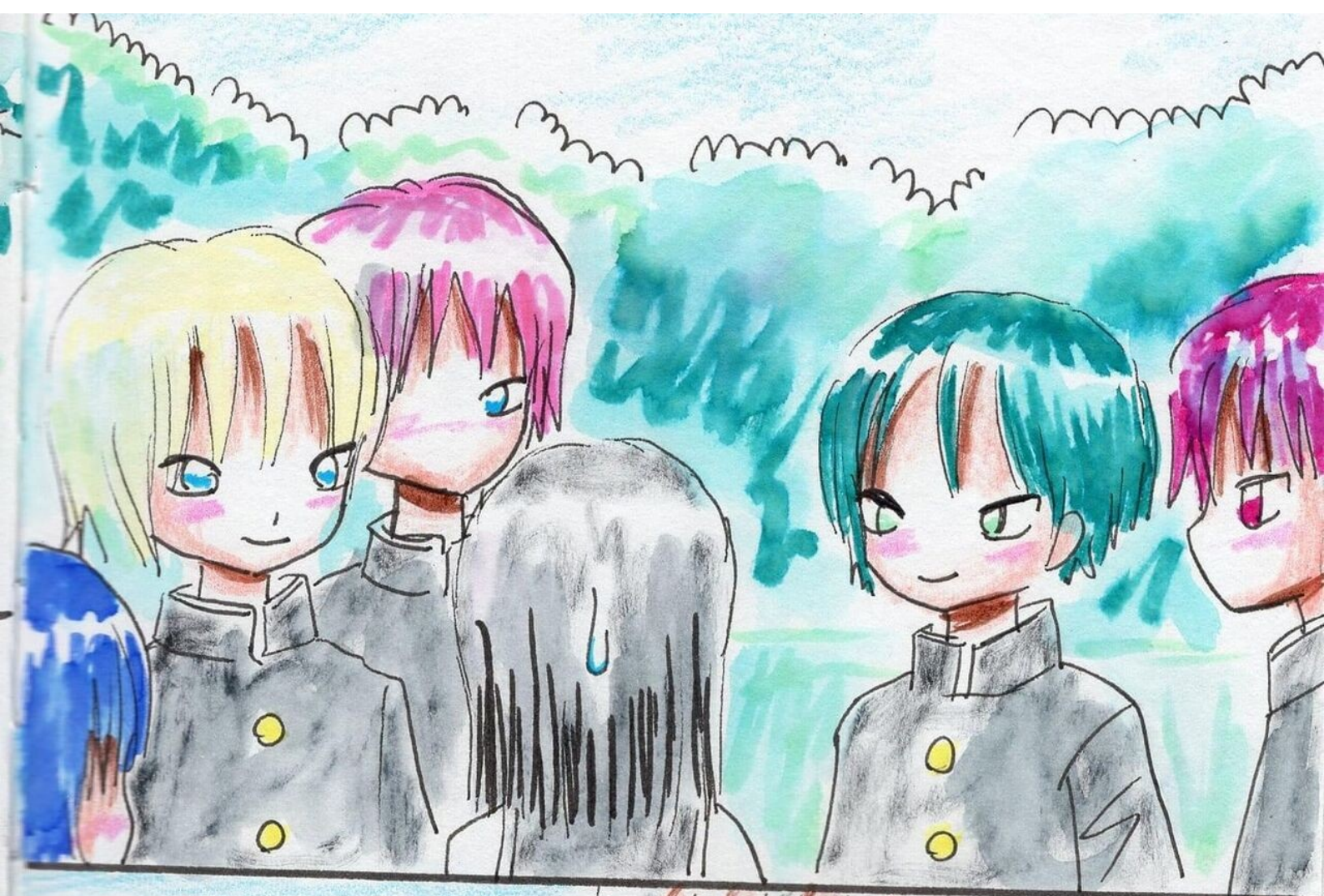


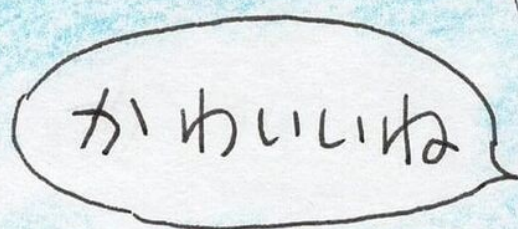
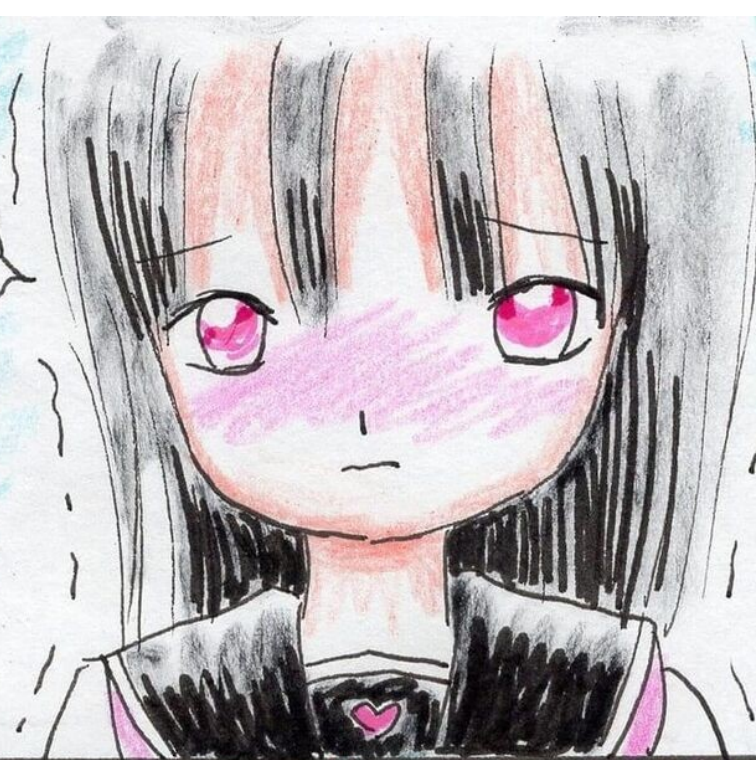
広い公園だった...

こんな
場所
来たことが
ない



ヒー
チチ





こんな
近くで
男の子見たの
はじめて

〇〇〇

ドキ
ドキ

いつも下を向いて
歩いていて

男の子の姿なんて
見たことなかった...



小学生のとき

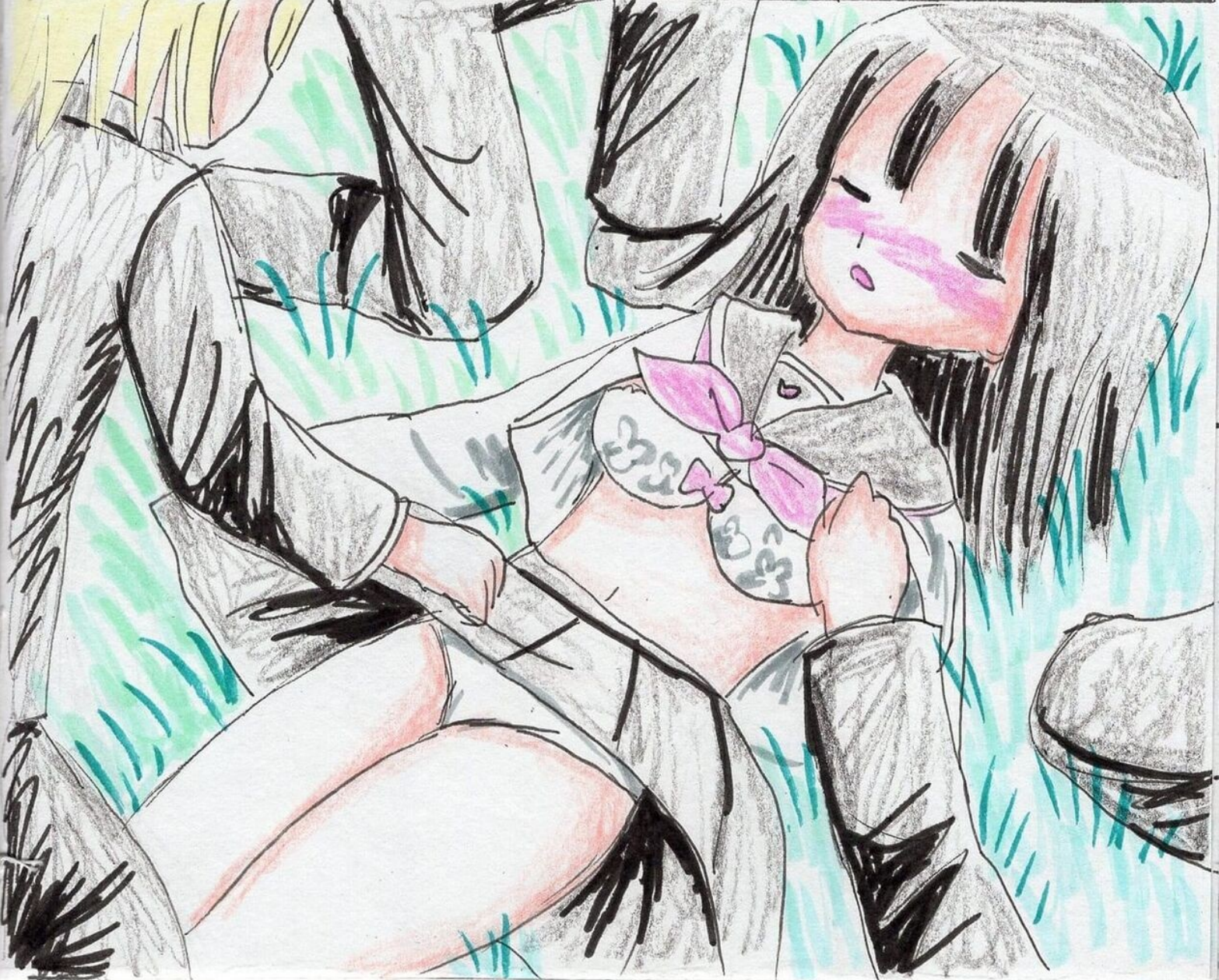


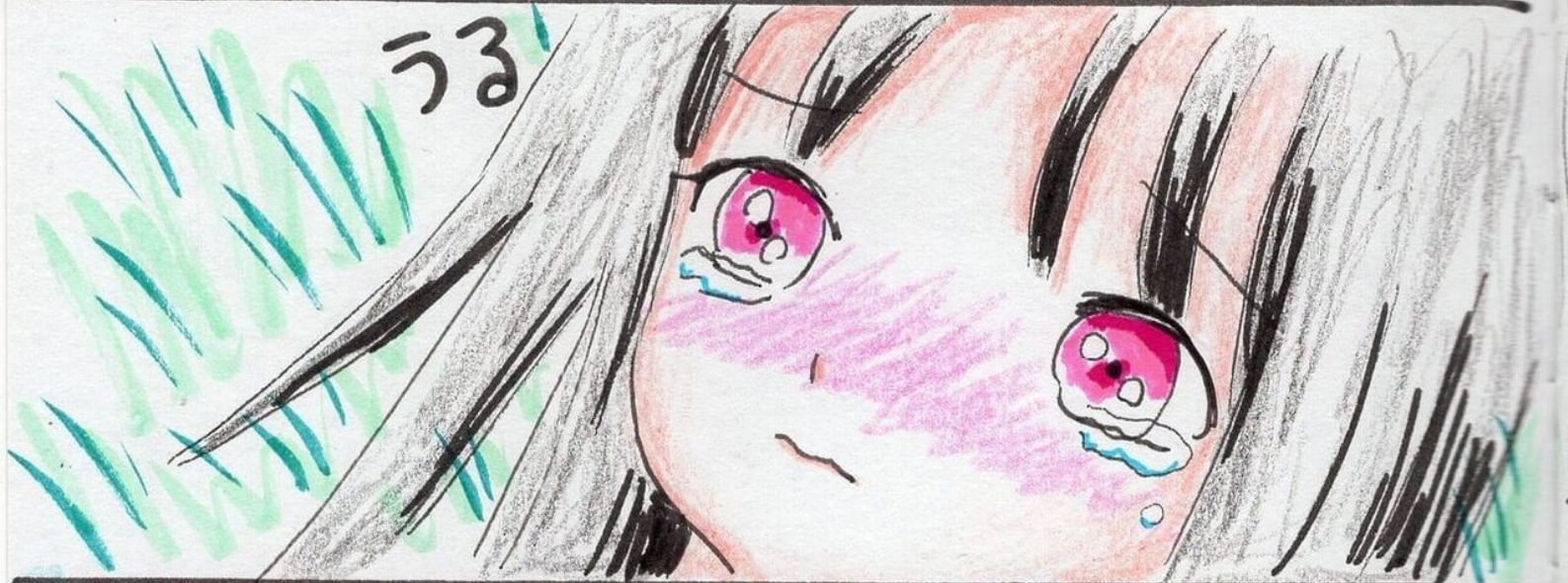
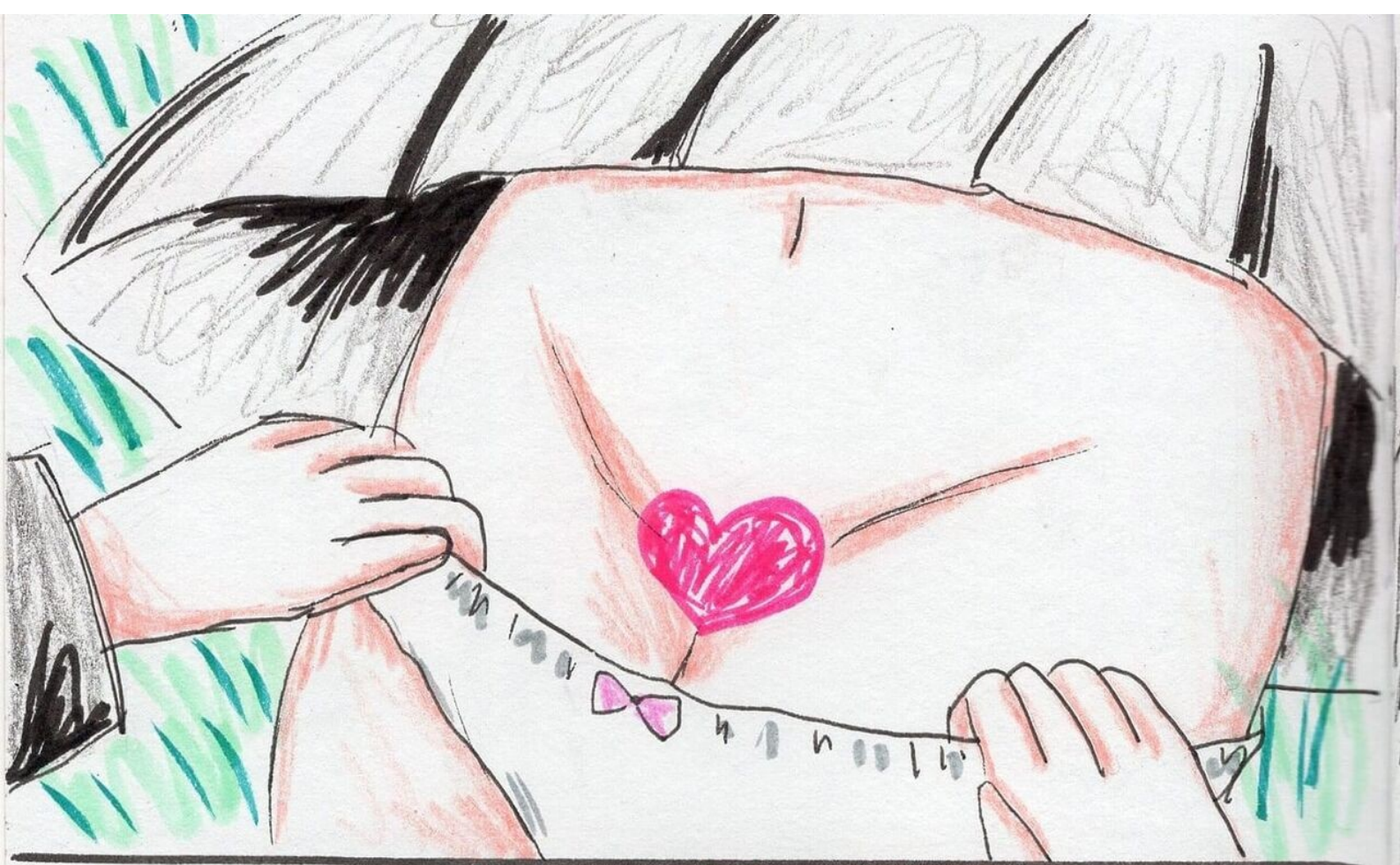
はぁかしい...

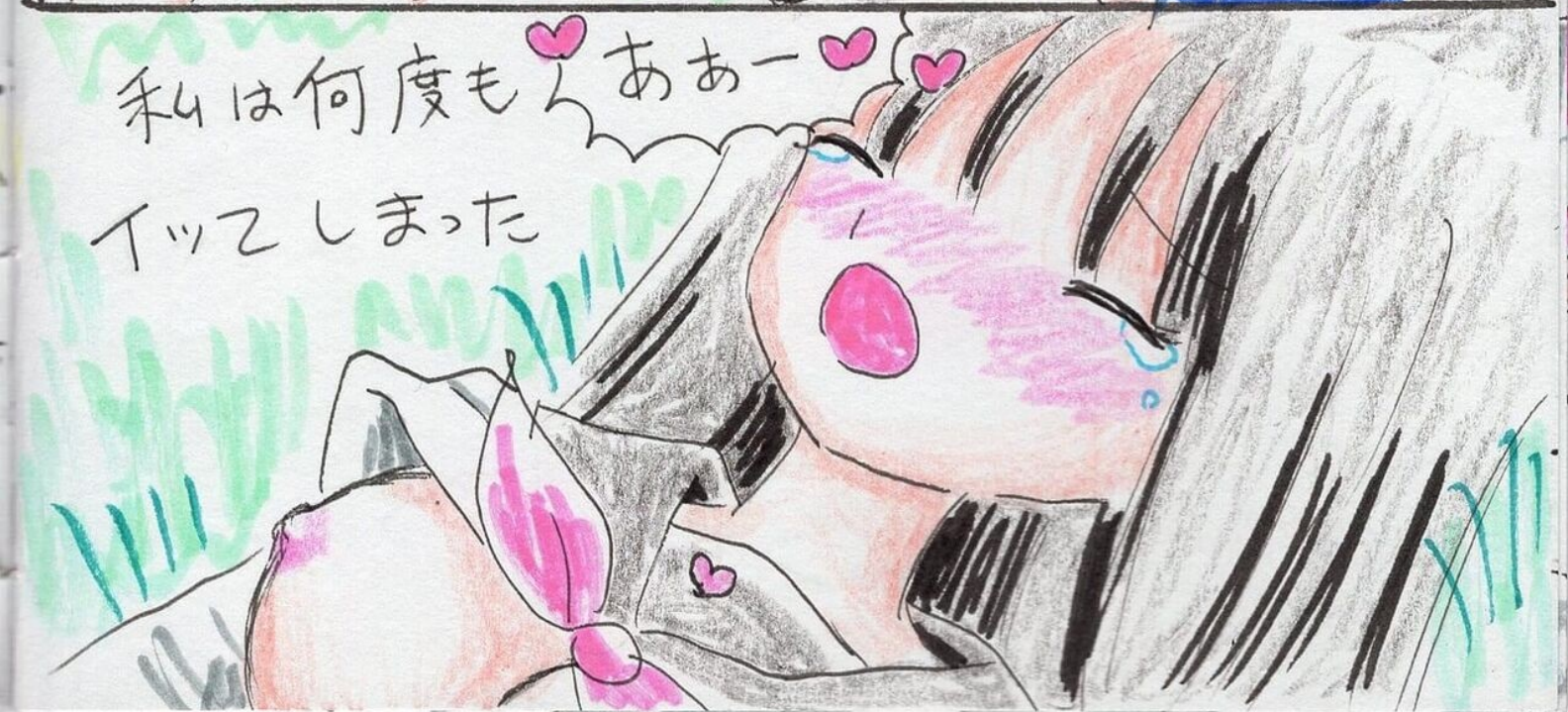
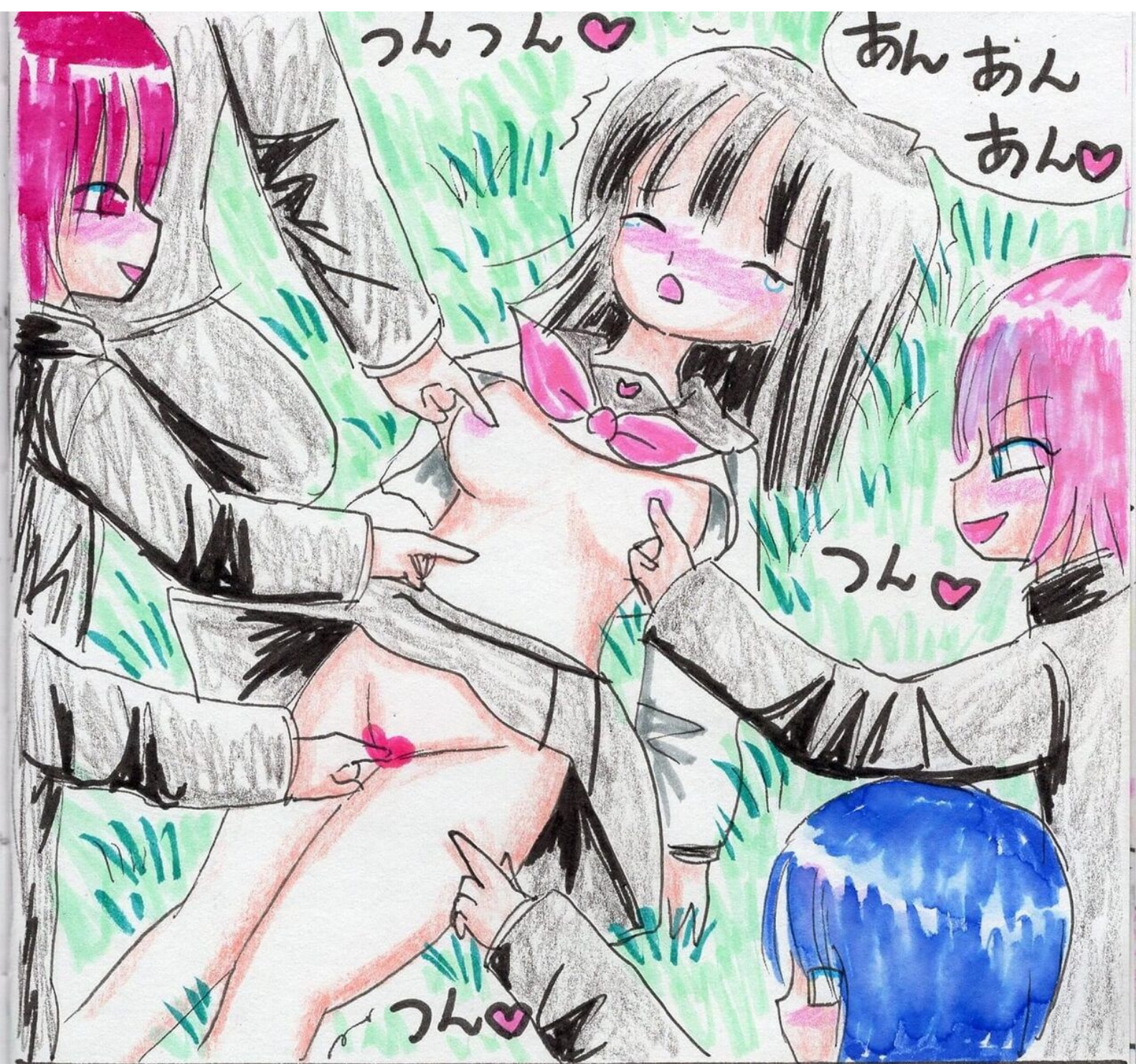
〇〇〇

もう
立っていられない...











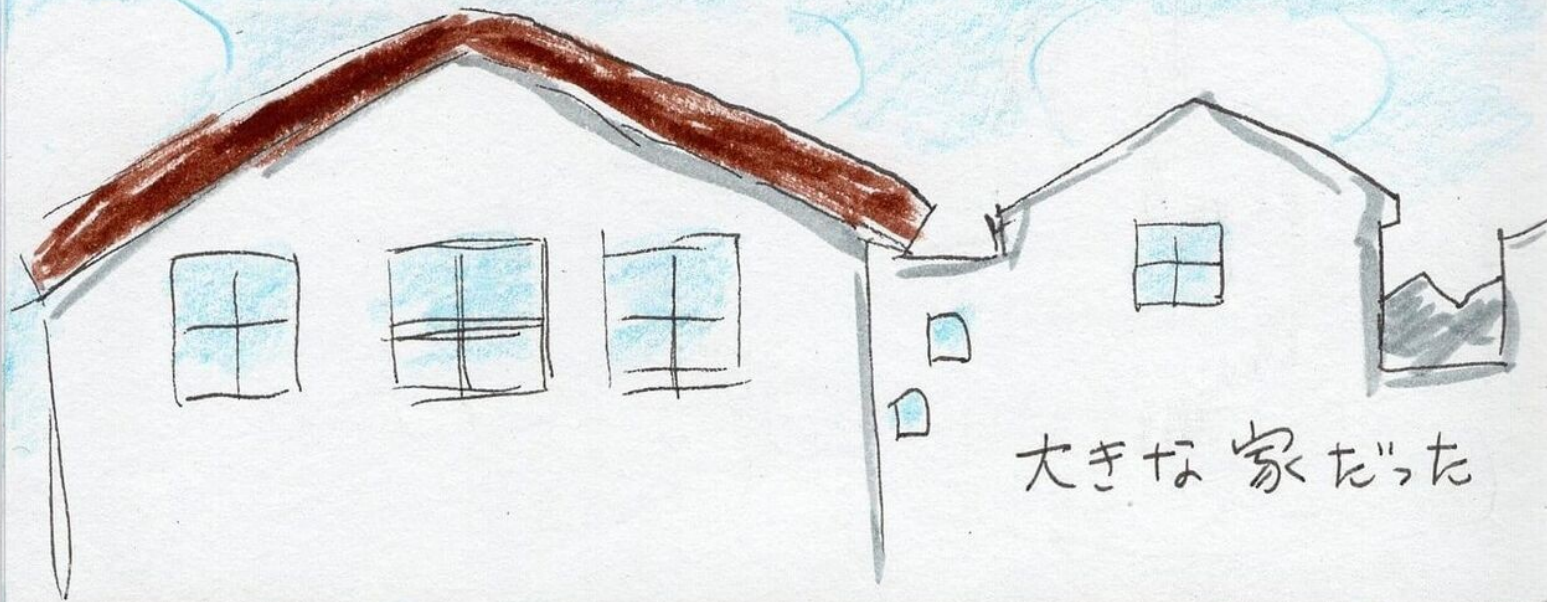
桜井...
真美...

めっちゃ
カワイイ名前だねー

づ

私は男の子の
家へと
つれていかれた

男の子みんな
同じカオしてる
...(笑)





私は電話番号を
おしえてしまった



どうしてだろう
耳が"か"しかったハズ
なのに
私はこの男の子たち
が"す"きなのかもしれない



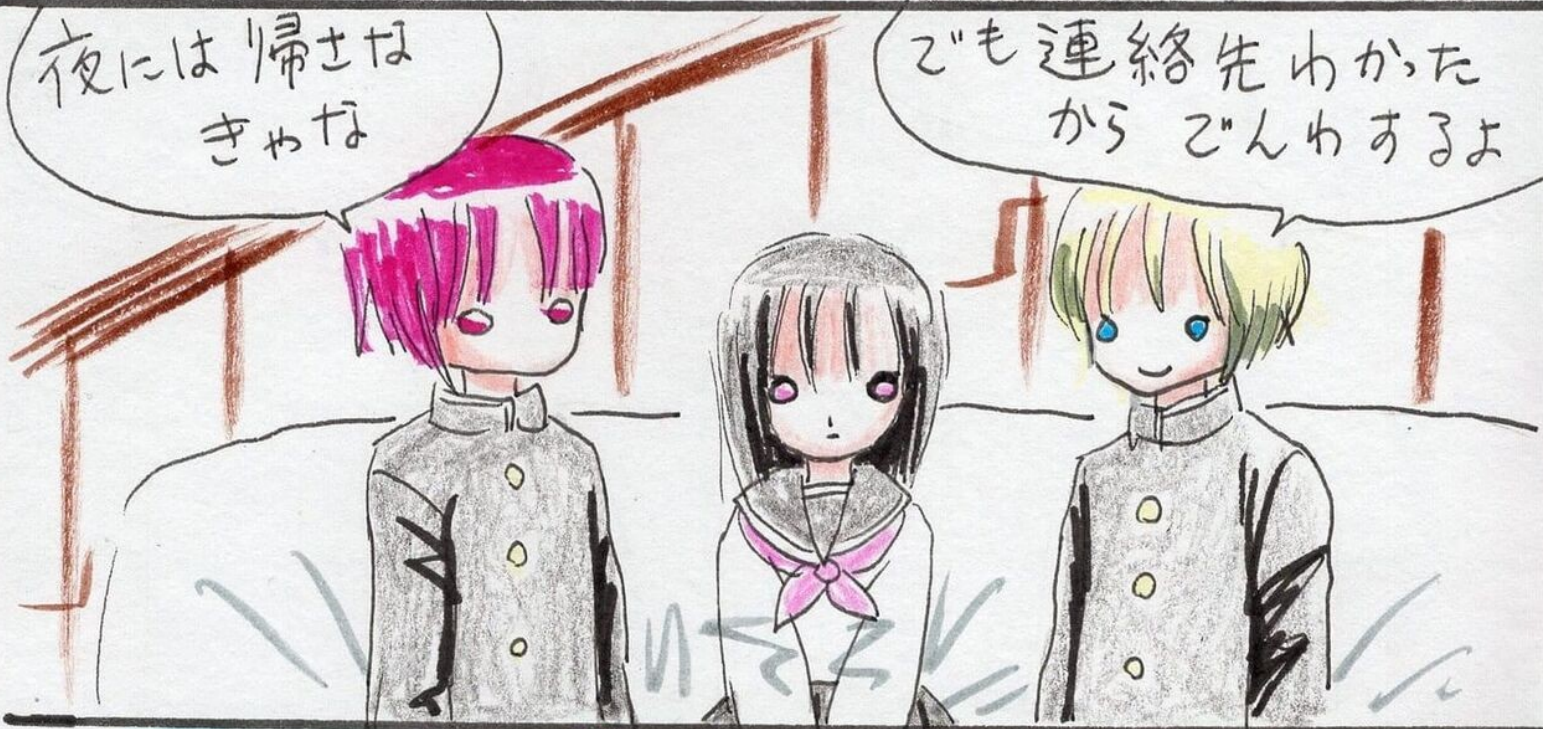
気持ちよく楽しかった
カッコイイし... やさしいし...

親なんかいなければ
真美ちゃんをずーっと
ここに とじこめて
一糸者に暮らしたいけど



夜には 帰さな
きゃな

ごも連絡先ゆかた
から ごんゆするよ



また オレたちと
遊ぼうな



こんなカワイイこが手に入ってよかった
男の子たちは思った



5人の男の子たち
はみんな
真美のことが
すきたった

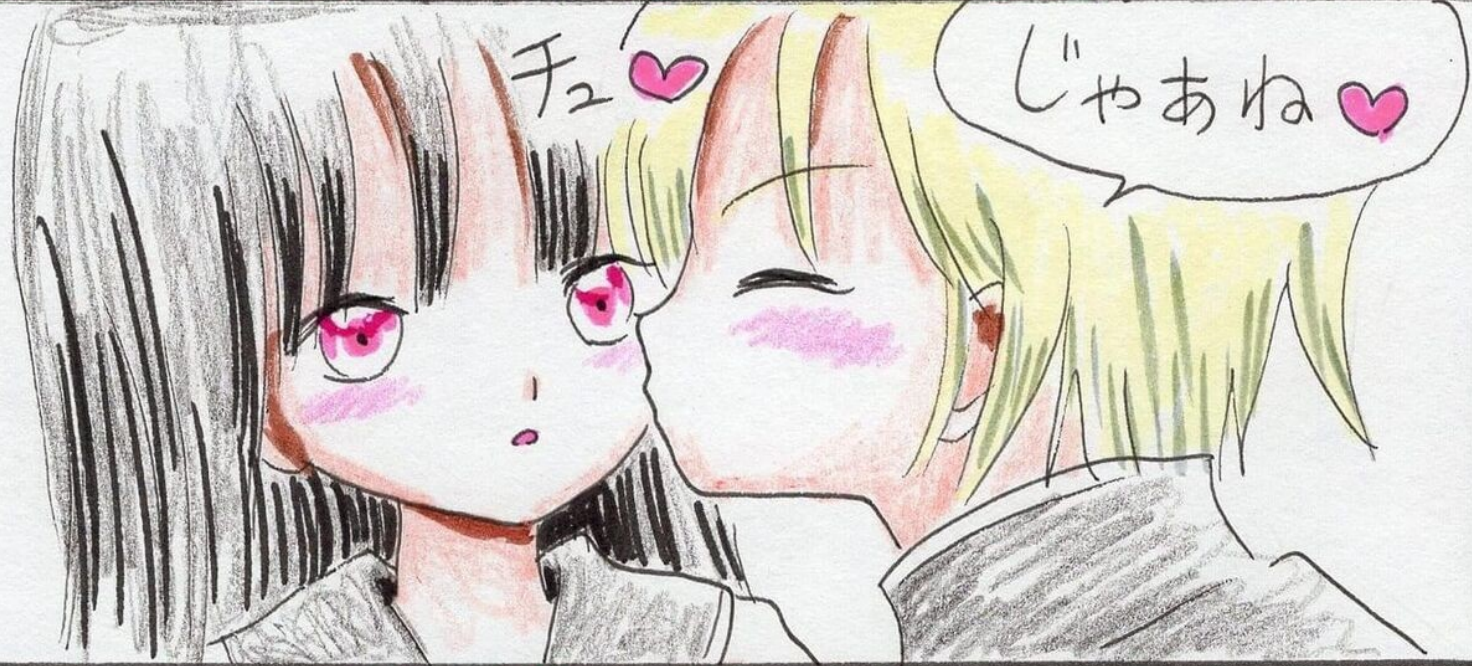


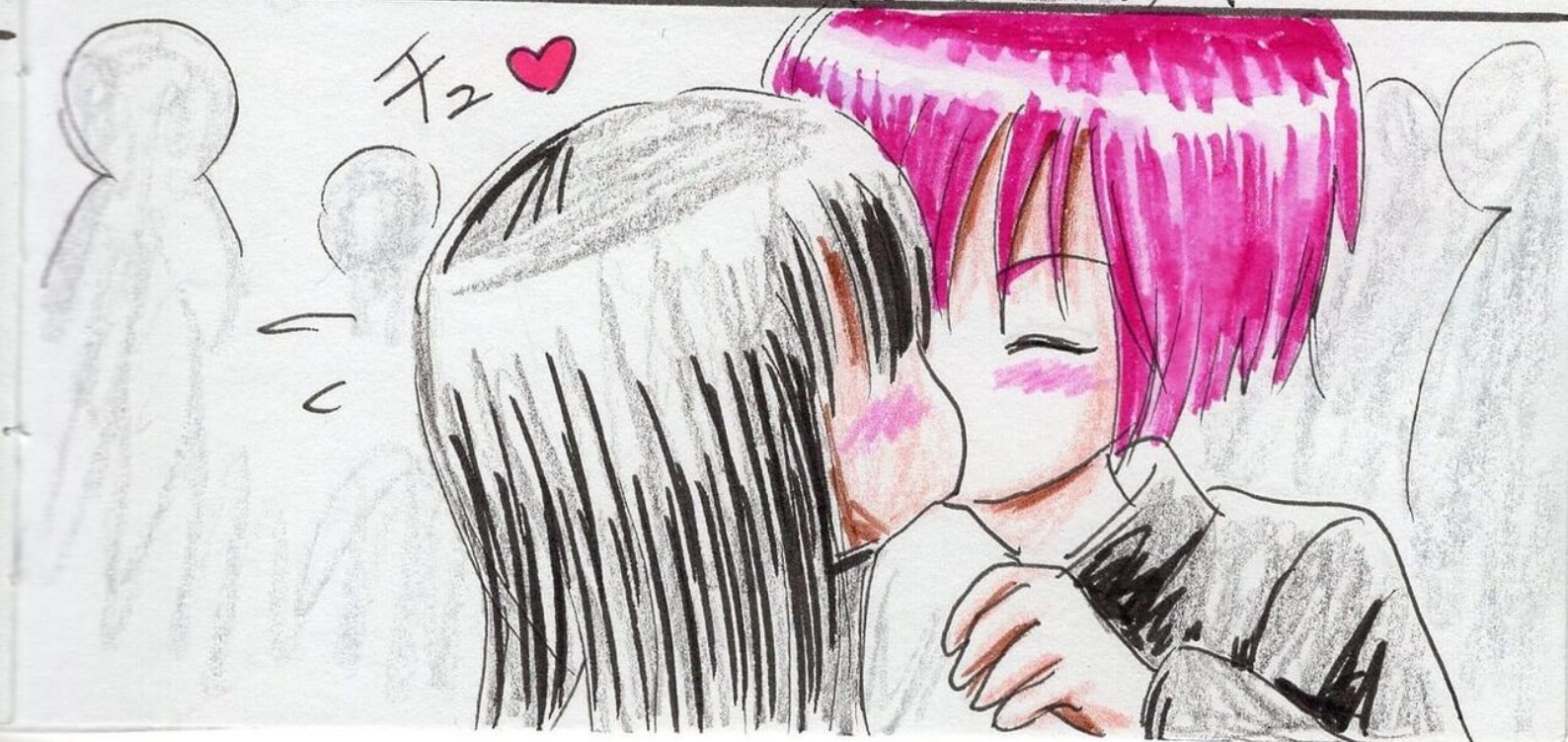
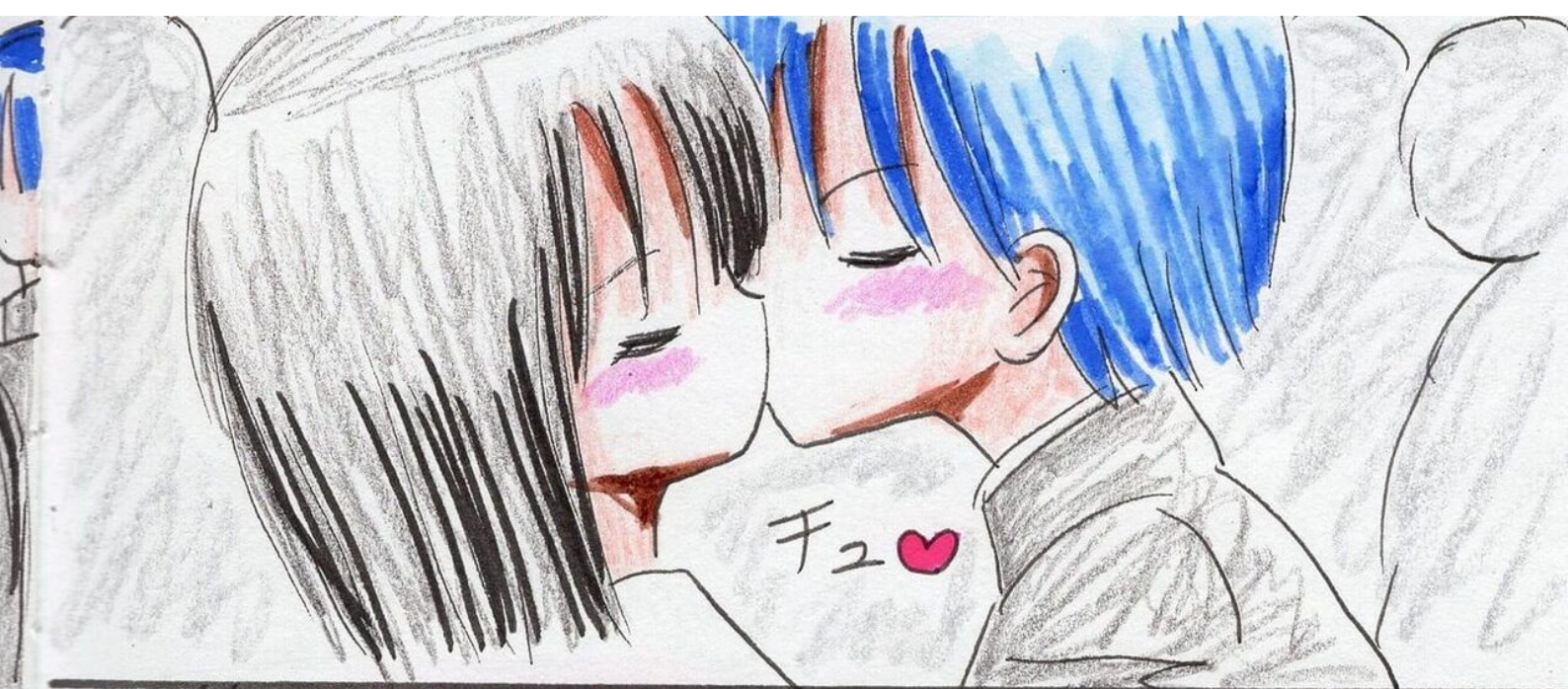
真美も
うれしかった

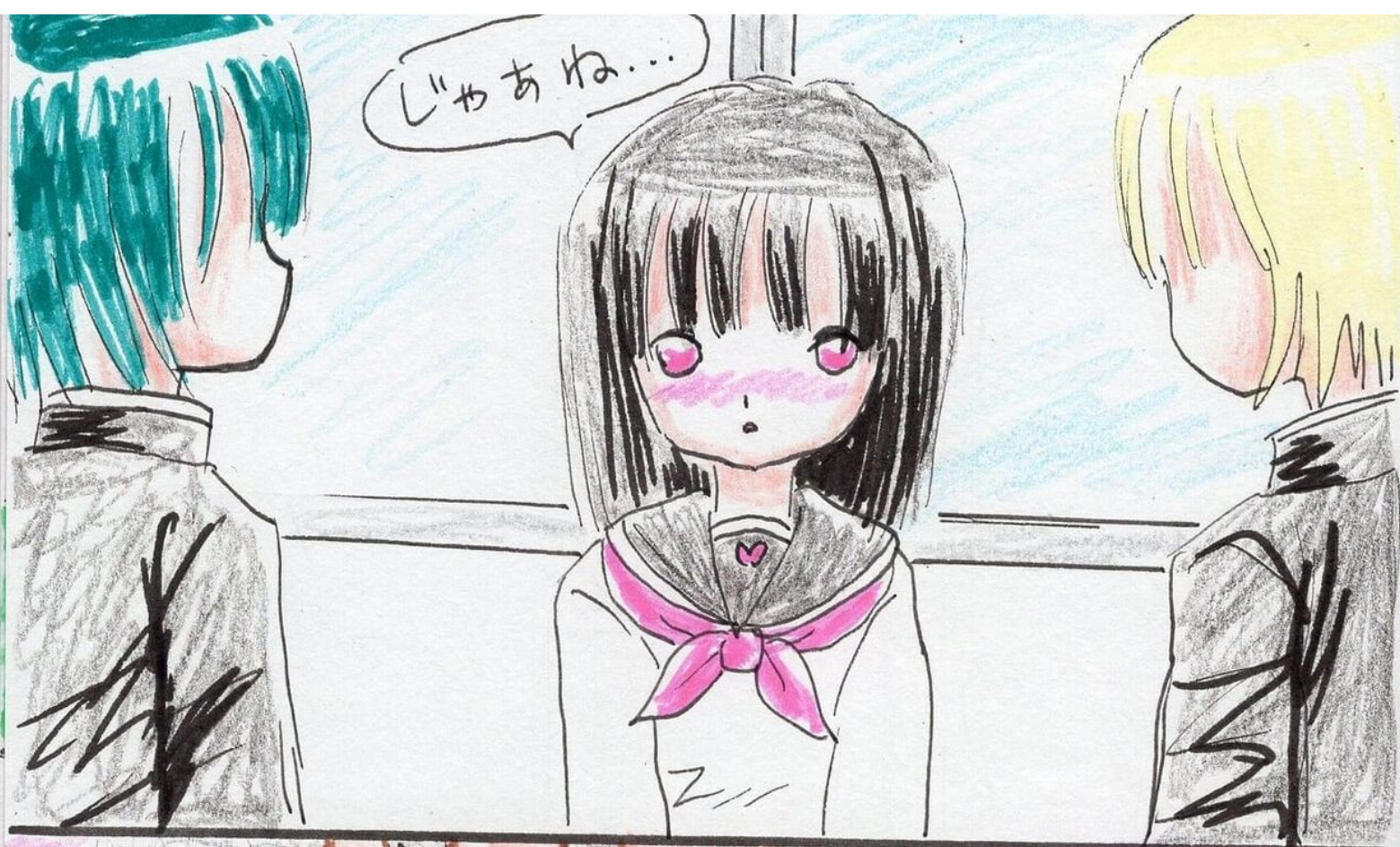


おとなしくて
友達もいなくて
一人でさみしかった
から 男の子たちと
友達になれて
うれしかった

学校がおわる時間
になり 男の子たちは
真美を駅まで
送ってくれた







じゃあね...



= 3

私は電車にのり 帰っていった



かたたん

かたたん

(ごんしゃへたり)

おわり